

学校法人名古屋電気学園 愛知工業大学名電高等学校同窓会



# 同窓会だより

発行所

愛知工業大学名電高等学校同窓会

〒464-8540 名古屋市千種区若水3-2-12

TEL (052) 721-0311 (代表)



各設置校同窓会、PTAへ学園百周年記念事業を説明する理事長（左から2人目）

## 学園、来年の創立百周年へ向け動き出す

### 若水キャンパスに百周年記念館を建設 名電高同窓会は会員名簿を刷新し発行

学園、各設置校  
PTA、同窓会  
等へ協力を要請

学園は来年秋の学園創立百周年記念事業として「教育環境の整備・充実事業」をメインに据え、その中の一つとして「**学園百周年記念館**」（仮称）を建設します。建設地は愛工大名電高校、愛工大附属中学校のある若水キャンパス（名古屋市中千種区）の南側敷地を予定。計画では、記念館は四階建て、延べ床面積七千平方メートル、メモリアルホール

やギャラリ、吹奏楽合奏室（兼記念ホール）などを設けることにしています。このほか、▽各設置校の情報機器、教育・研究設備の充実―などを予定しています。この事業遂行に必要な資金の一部に充てるため

記念募金（目標額十億円）を実施。募金事務局を学園事務局内に設け、一月末から募金活動を始めました。学園は、それに先立ち昨年十月、愛工大名電高南校舎校長室で四設置校の同窓会、後援会、PTA各会長を集めて百周年記念事業に対する協力要請を行いました。後藤淳理事長が「百周年記念事業は、一大事業です。記念館建設等の記念事業に一部充てるため募金活動を行うこととしており、皆さんのご協力をお願いします」と述べ、協力を要請しました。

同会議には加藤訓愛工大名電高同窓会会長、星野孝

一愛工大名電高PTA会長も出席し、理事長や三輪博美事務局長、林憲二事務局長、川出善晴財務部長、佐藤忍愛工大名電高・附属中学校長の百周年事業の記念事業の概要、募金活動の取り扱いなどの話を聞きまし

同窓会、十年ぶりに同窓会名簿を刷新し発行へ

愛工大名電高同窓会は、学園創立百周年の記念事業として「同窓会会員名簿」を新たに発刊します。前回の同窓会会員名簿は二〇〇二（平成十四）年の学園創立九十周年の記念事業として発行しており、十年ぶりの発行となります。

新名簿発行は二月二十六日に開かれた平成二十二年同窓会役員研修会で、正式に決まりました。新名簿には、学園創立一



新同窓会会員名簿発行を決めた役員研修会

年後の一九一三（大正二）年十月に卒業した名古屋電気学校卒業生から最新の二〇一一（平成二十三）年卒業の科学技術科、情報科学科、普通科各卒業生までと現・旧教職員が掲載されます。このほか、歴代校長先生の写真、年表、関連写真なども収録予定。

**同窓会の百周年実行委員会（葛谷捷臣委員長）**が中心となって発行作業に当たり、名簿に新たに載せる資料の整理、原稿の準備を進めます。また、来年一月ごろから全会員へのハガキ送付などを通し情報収集に入り、順次、名簿、広告予約など経て十月ごろに名簿発行を予定しています。

会報の題字は、後藤淳理事長に書いていただきました。

# 同窓会の頂

愛工大名電高等  
学校同窓会へ関心  
や理解を深めても  
らうため同窓会、  
同窓会会員の活動  
などをお伝えして  
いきます。

## 平成二十二年役員会



昨年十一月二十六日、名古屋市内で名誉会長の後藤淳理事、加藤訓会

十人が出席して開かれました。挨拶に立った後藤理事長が学園創立百周年記念事業への協力、支部結成による同窓会組織の充実などを呼びかけました。続く挨拶で、加藤会長が同窓会報発行、ホームページの再会の報告に加え、百周年記念事業として準備作業を進めている同窓会会員名簿発行の概略を述べました。ホームページを担当して

いる北野芳憲副会長から、「内容を充実させて四月一日、開設します」の報告、また、来賓の林憲二学園事務局参与から学園百周年記念事業、募金の概要説明がありました。

この日は平成二十二年の中日ドラゴンズリーグ制覇に貢献した野球部出身の堂上剛裕外野手、堂上直倫内野手兄弟も出席。来年の抱負を力強く述べ、大きな拍手を受けていました。

写真は、後藤淳理事長を迎えて開かれた平成二十二年役員会

## 平成二十二年役員研修会



二月二十六日、愛工大名電高北館会議室で開催。加藤会長が「同窓会だよりやホームページなどを通し、若い会員にも学校、



同窓会や卒業生の情報をつかり伝える

ご協力です。また、PTAの学生から入会金を上げていただくので、同窓会の自主活動に充てることにしています」と、挨拶

この後、後藤淳理事長から「学園百周年記念事業で建設する記念館内に、学園百年の歴史が分かる資料の展示を計画しています。皆さんの中で、古い資料をお持ちなら提供していただきたい」との協力要請がありました

## 写真左



来賓の佐藤忍高校・附中校長は、公立高校の授業料無償化等に対する本校の取り組み、学園事務局の林憲二参与、三宅寛管財課課長からは最新の学園百周年事業関係、新同窓会事務局の

む同窓会の協力態勢などについて提言などがありました。また、同席で加藤会長から正式に同窓会会員名簿作成の提案説明があり、来年十月発行の日程も含め了承されました。

## 学校見学



教員⑥の説明で教室の機器などの説明を受ける同窓会役員

この後、希望者は高校側の案内で北館、一昨年四月に完成した附属中学の入る南館を見学。北館ではコンピュータ室、物理実験室、サテライト教室などや窓から望む周囲の景観を見て、「すごい設備ばかり。我々の学生時代からは想像できないものばかり」、「見たこともない建物が多く昔の面影もない」と新しい施設や様変わりした学校周辺の様子に驚いていました。

## クラス幹事と懇談

同窓会役員は二月十日、高校北館一階会議室で平成二十二年卒業の各クラス幹事と懇談しました。クラス幹事は、全クラスに二人ずつ置かれ、卒業後、同窓生のほか学校、同窓会とを繋ぐ、大切な役割を担います。

平成二十二年卒業のクラス幹事は、普通科、科学技術科、情報科学科合わせて十八クラス、計三十六人です。この日は加藤訓会長、北野芳憲副会長ら同窓会役員、各クラス幹事が出席。加藤会長は挨拶の中で、クラス幹事の役割などを説明し、さらに「これまで卒業式で成績優秀者らに贈っていただきました同窓会賞を、今年度からそれぞれのクラスで大事な仕事を担う皆さんに贈ることにしました」と、明らかにしました。



クラス幹事を務める生徒に激励の挨拶をする加藤会長(立っている)

やあ！お元気ですか

同窓会会員は現在、五万四千人を超えます。その顔ぶれは実に多彩です。各分野で生き生きと活躍するOBらの姿を追ってみました。

『オンラインワンの鞆作り』

野牧 一雄さん



自宅毎日、「苦にならない」と大好きな鞆作りにも時間も忘れて打ち込んでいる野牧さん

野牧さん（昭27卒）の今の肩書きは、「鞆職人」です。それも世界に同じ物が二つと無い“オンラインワンの鞆を手がけています。一宮市内の自宅を訪ねると、仕事場の居間は材料の木の切れ端で埋まっています。実は檜、桜などの木を使って鞆を製作。

元々、大工さん志望とあって物づくりはお手のもので、さらに鞆好きもあり、気づいたら鞆作りへのめり込んでいたとか。作り方は至ってシンプル。薄く削った二枚の板を両サイドに使って作ります。でも、誰でも出来るという訳には、いきませぬ。木の表面は色や飾りを施さず、木目の美しさを活かしています。最初はお孫さんや奥様、知人に鞆をプレゼントしていましたが、材料の木と出合った木曾谷・妻籠宿内の作品展示やロコミで広がり、自宅の庭に「工房」を建てるまでになりました。野牧さんの鞆は、“一点もの”に加え、木と見えない作品の出来映えが、評判を呼んでいます。初の個展「野牧一雄・木



ンプル。薄く削った二枚の板を両サイドに使って作ります。でも、誰でも出来るという訳には、いきませぬ。木の表面は色や飾りを施さず、木目の美しさを活かしています。

『おもちゃドクター』 羽佐田 修二さん

羽佐田さん（昭37卒）の“おもちゃ病院”は毎月第四土曜日、名古屋市中千種区内の千種児童館内で開院。“病院”で羽佐田さんと会った時も、「病人」のおもちゃを相手にフル回転中。写真右。高校での担当が電子科だっただけに、「診たて」は正確。修理できるおもちゃは、三十分もあれば大丈夫だが、最近の様に電子回路を組み



の鞆展」を二、三月、名古屋市中区のギャラリーで開催。二月二十四日放送のCBCテレビ「イッポウ」の中でも取り上げられました。

込んだものは簡単にいかず“入院”扱いとし、日数をかけて修理しています。「みんな愛着があるから修理に持ち込んでくる。だから何とか、修理して返してあげたい」と優しい。

羽佐田さんが物づくりに関心を抱いたのが小学三年生の時。お兄さんから手ほどきを受けて作ったラジオという。それから色々な電気製品づくりに挑戦し、物づくりに楽しさを憶えていったそうです。中学時代に電気機器の作り方を教えてくれた近くの時計屋さんの名前は、今でも忘れないと、顔をほころべます。また、電気工事士の資格を生かし家電製品の修理も手がけています。これは商売でなく、自宅（名古屋市中東区）周辺のお年寄りから手軽に電気屋さんに行けないような家の修理が、主。「喜んでくれる子どもの顔を見ると、疲れも吹っ飛んでしまう。修理すれば、再利用できることが分かるだ

けでも大事」と話す。

『人を感動させる名優』

神戸 浩さん



最優秀助演男優賞の神戸さん

神戸さん（昭57卒）は、電子科出身からなかなか思い浮かべにくい役者、しかも名優です。役者なら手にしたいと望む報知映画賞最優秀助演男優賞、日本アカ

デミー賞優秀助演男優賞を受賞しています。高校時代から演劇に興味を持ち名古屋・大須の高校生を対象にした演劇セミナーで学び、卒業後はホテルに勤める傍ら劇団に入り、役者として舞台に立ち、演技に磨きをかけていきました。その実力は、報知映画賞最優秀助演男優賞を受賞した竹中直人監督の「無能



恩師の尾島教諭(右端)らと記念写真を撮る神戸さん

の人」、そして山田洋次監督の「学校Ⅱ」でいかなく發揮されました。昨年九月から今年三月まで、NHK朝のテレビドラマ「てつぱん」に出演、「大阪で制作から、週の大半は大阪にいたかな」と笑う。



野牧元校長を囲み、記念写真を撮る今でも仲間意識の強い「電友会」の皆さん

名古屋市中区内の飲食店で開かれた会の忘年会におじゃましました。実に多様な人材の集まりで、その元気さは若い人に負けない。当時、校長先生だった後藤球部がつくられた関係から

電友会

みんな集まれー同窓生ニュース

集まるとニギビ顔で、何にでもがむしゃらにぶつかっていった青春時代真つ盛りに、「タイムスリップ」してしまうのが同級生、同年の集まり。その一回目として昭和三十五年電気科卒でつくる「電友会」を訪ねました。また、北野芳憲副会長が幹事を務める昭和三十四年電気科卒業生の「辰巳会」の集まりを書いていただきましたので紹介します。



と若気の至りで結構、無茶なこともしたけど、今思うと懐かしい」と、加藤会長は目を細める。野球部とくれば、応援団も欠かせないと、創設された。高校卒業後、米国に渡り同地で活躍した光田新八さんは、初代団員。光田さんは苦学の人でもある。生活のため「朝は牛乳配達、夜もレストランで働いた」と話す。今の生徒には考えられないことです。学校についての皆さんの思い出というと、「校舎は良いと言えなかつたなあ。

昨年十月二日(土曜)、名古屋市内のホテルで、長尾正男(第六代校長)、野牧一雄(第十代校長)、高木信一各先生をお迎えして卒業生三十九人で、「同級生会」と「古希祝賀会」を開きました。「同級会をやって旧交を温め、語り合おう」とかつての同級生に呼びかけ、昭和五十年九月に割烹旅館・蓬萊で第一回同級会開催を実現。以来、二、四年ごと

辰巳会

雨漏りの記憶もある」から「教育は厳しかった。授業中、よく後藤球二校長が知らない間に教室の後ろに立っていた。生徒より先生の方が、ピリピリしていた」と、話は尽きません。当時は就職する生徒も多く、同じ企業に一度に十数人の同級生が入ることも珍しくなく、今の電友会の仲の良い理由の一つにもなっています。同夜の忘年会にも、野牧一雄元校長も交えた多くの会員が駆け付け、「乾杯」写真上IIに始まり、夜遅くまでにぎやかな宴が続きました。



名古屋市のホテルで開催した辰巳会、古希祝賀会出席

に集まって開いており、その十六回目が古希祝賀会となりました。先生はもちろん、同級生の懐かしい顔がそろい、会場は飲むほどに大いに盛り上がり、みんな高校時代に戻ったような気持ちになりました。名残は尽きませんでした。が、学園百周年が二十四年十一月に予定されているので、その時に今回の出席者全員がまた元気で会えるよう、「日々精進」をみんな誓って閉会しました。(文・北野芳憲)

募る仲間！同窓会アマチュア無線クラブ入会案内



石崎敏也  
同窓会理事  
が入会を呼  
びかけてい  
ます。



写真上は、国内、国外の愛好家と交信する石崎さん。右は、交信相手に贈られる無線クラブ発行のQSLカード



高校を卒業してから三十年の月日が経ち、在校中に所属していた無線部が、部員の減少によって廃部となったことを知り、高校時代の楽しかった思い出が消えるような思いに駆られ、同窓理事の皆さんに同意を得て、クラブ無線局の再開局申請を総務省に提出し、在校当時使用していた無線局のコールサイン「JA2YBV」を一昨年春

に取得することができました。現在は、少しずつOBでクラブ局の運用を行っています。部員は十人足らずですが、同窓生の方のご参加を得て無線部の歴史を更につくっていきたいと思っています。昨年の無線クラブ総会では、入会案内とQSLカードと作成いたしました。同窓生の入会をお待ちいたしています。

入会手続きなどは以下の通りです。資格はアマ無線に興味のある卒業生や在校生、教職員です。特典は、▽E-mail「週間インフォメーション」によるアマチュア無線情報の配信▽会員相互の情報交換、親密な交流。会費は入会金千円、年会費二千円。申込先は、〒464-8540 名古屋市千種区若水3-2-12 愛工大名電高同窓会アマチュア無線クラブ。詳細は同窓会アマチュア無線クラブ宛へ。

事務局の移転

同窓会事務局は4月1日、高校北館と道路をはさんだ「学園東管理棟」(名古屋市千種区上野三丁目8番16号、3階建てビル)2階に移転。同階にはフロア共用の会議室(広さ48平方m)もあり、利用できます。電話番号は、変更ありません。



学園東管理棟ビル

同窓会からのお知らせ

ホームページリニューアル

「愛知工業大学名電高等学校同窓会」の名称で開設。高校沿革から「学園だより」、同窓会広場など用意。このサイトを通じた同窓会、クラブ連絡などの利用大歓迎です。高校との関係を深めるため月1度のメールマガジン配信も考えています。メールアドレスは下記の通りです。

<http://www.meiden-ob.net/>

会員短信

創立記念事業に協力しよう



渡辺静夫副会長

昭和二十九年卒業、OB、中央線

OBの皆様、元気でお過ごしのことと思います。「光陰矢の如し」。高校時代、紅顔の美少年だった我々も今年で早くも卒業五十七年を迎えます。それぞれの道を歩み、五十七年という長い年月を過ごされたと思います。学園も、来る平成二十四年に創立百周年という大きな節目を迎えます。皆様も既に、学園が我がの学んだ若水の地に、記念館建設など百周年に絡む様々な記念事業を企画していることは、ご存じだと思います。

百周年を盛り上げるために、同窓生らの積極的な協力を賜りますようお願いする次第です。百周年式典の時には、皆様にも出席していただき、また、お元気な顔をお見せください。楽しみにしています。

(文・渡辺 静夫)

ホームページに全力投球中



北野芳憲副会長

来年十一月に学園創立百周年を迎えるに当たり、同窓生に向けた良い連絡方法がないかと模索する中、「同窓会のホームページを作成しては、どうか」という提案があり、その分野に詳しい母校の先生の案で、学習の一環として情報科学科のお力を借りて平成十九年四月に立ち上げました。しかし、頼りの先生もなかなか時間が取れないこともあり、次第に更新が難しくなり、現在に至っています。

来年十一月の百周年も近づき、会員への学園記念事業や同窓会の取り組みなどをきちんと伝え、一人でも多くの会員に参加して頂けるようにとホームページのリニューアルを図ることにしました。当面、今年四月までに同窓生への情報発信や連絡の手だてとして活用してもらえようように更新準備作業に追われています。

(文・北野 芳憲)

### 学校から



佐藤忍 高校・附属中学校長

高校では昨年、フェンシング部が学校対抗男子の部で全国優勝を果たすなど活躍が目立ちました。現況に  
関し校長先生が次の様な一文を寄せて下さいました。

「今、高校は——高校の  
今と明日について——」

学園創立百周年を目前に控  
え、この紙面をお借りして現  
在の高校における状況とこれ  
から本校が目指す学校につい  
て報告させていただきます。

平成二十二年度は、普通科  
志望者の根強い人気を支えら  
れ、昨年度同様四千人を超え  
る志願者を集める入学試験を  
実施することができました。  
その結果、科学技術科・情報  
科学科が募集定員を下回る入  
学者数ではありましたが、五  
百七十人が入学してくれまし  
た。

基礎基本を大切にした授業  
やオリエンテーション合宿を  
はじめとする様々な学校行事  
を展開しながら、数多くの生  
徒諸君が部活動に参加し、例  
年のようにインターハイ等の  
全国大会にも駒を進めてくれ  
ました。常連の卓球部、吹奏  
楽部、中でもフェンシング部  
が沖縄で開催されたインター

ハイで団体優勝を成し遂げた  
ことは本校の歴史に輝かしい  
一ページを書き加えてくれま  
した。

進学実績についてはまだま  
だ発展途上ではあります。愛  
知工業大学への進学者は二  
百人を超え、国公立大学、難  
関私立大学への進学を目指す  
生徒も多く、部活動と共に進  
学補習を受講したり、校内で  
遅くまで受験勉強をしている  
生徒の姿も多く見られるよう  
になりました。

このような生徒諸君の日常  
の活動を更に活性化させ、成  
果を挙げるのに一役買うこと  
になりそうないイベントが、い  
よいよ着手されることになり  
ました。第二南館及び愛名館  
を建て替え、学園創立百周年  
記念館（仮称）を建設するこ  
とが本決まりとなったことで  
す。

同窓会やPTA等の皆さん  
の協力をいただきながら創立  
百年を振り返り、本校の更なる  
飛躍の礎となるような記念  
館とすることで生徒たちが胸  
を張り、堂々と毎日の学習・  
実習・部活動に取り組むこと  
ができるのではないかと考え  
ています。

### 若水キャンパスで



卒業式後の教室で恩師へ  
“温かい”贈り物

「同窓会だより第  
一号」発刊以降の昨  
年九月から今年三月  
まで、若水キャン  
パスは生徒の大イベン  
ト「学校祭」から涙  
と感動の「卒業式」  
まで、様々な思い出

過去数年間、本校は附属中  
学校も含め、皆様のお力添え  
で順調に発展してまいりまし  
た。しかしながら、現在、私  
学は、公立高校の授業料無償  
化、長引く不景気、少子化、  
多様化する生徒への対応等多  
くの課題を抱えております。  
本校とて、例外ではありません  
ん。本校は今後も生徒を社会  
人として育てるための『生徒  
指導』に力を入れ、教科指導  
の効果を挙げるために、教師  
個々の力量の向上と生徒の自  
律する力を鍛錬していきたい  
と考えています。今後ともご  
指導ご鞭撻いただきますよう  
お願いします。

### 9月 学校祭



に満ちあふれていました。  
主な出来事を月別に拾い集  
めました。

「Pr  
olog  
ue」未  
来への序  
章」を  
テーマに  
九月二十  
二日、校

内が学校祭一色に包まれま  
した。最も盛り上がったの  
が喬徳館での恒例となった  
クラスごとのダンス披露。  
独創的でスピーディーな踊  
りが、観客の生徒、保護者  
も巻き込み、楽しませまし  
た。生徒手づくりの模擬店  
Ⅱ写真Ⅱや、飛び入り歓  
迎の「カラオケ大会」など  
は、順番待ちもできるほど  
の人気でした。

### 10月 フロ入団

野球部の谷口雄也外野手  
（普通科三年）十月二十八  
日のドラフト会議で、プロ  
野球・日本ハムから五位指  
名を受けて入団。部合宿所  
（春日井市）での記者会見  
では佐藤忍校長、倉野光生



監督、  
部員ら  
の見守  
る中、  
「夢が  
かなっ  
てうれ  
しい。

大先輩のイチロー選手に、  
少しでも近づけるよう努力  
します」と、力強く抱負を  
語りました。翌二十九日、  
高校で後藤淳理事長Ⅱ写真  
右Ⅱに会い、指名報告を行  
い、激励を受けました。

### 10月 祝賀会



フェン  
シング部  
は七、八  
月に行わ  
れた平成  
二十二  
年度全国  
高校総体  
フェンシ  
ング競技  
学校対抗

男子の部で十五年ぶり十度  
目の栄冠を手にしました。  
その栄誉を祝う優勝祝賀  
会が十月三十日、名古屋市の  
ホテルで学園、高校、OB  
関係者ら約百六十人が出

席して開かれました。その席で、後藤淳理事長が川嶋範夫部長（本校教諭）、小西貴之監督（若水事務部事務職員）のほか、高阪一世君（普通科三年生）ら選手五人**写真前頁下左**を学園表彰しました。

**12月 谷口寮開設**



卓球部の新しい谷口寮と体育施設「Meidensポーツセンター」が十二月

六日、名古屋市中種区に完成。寮は鉄筋三階建て延べ床面積六百八十三平方メートル、体育施設は鉄骨平屋建て五百十六平方メートル**写真右**。同日はオープニングセレモニーを行い、後藤淳理事長、後藤泰之学長らがテープカットし完成を祝いました。

**1月 定期演奏会**

吹奏楽部の定期演奏会が一月九日、名古屋市の名古屋国際会議場・白鳥センチュリーホールで開かれました。



た。部員は満員の聴衆を前に全国大会出場常連校の実力を披露し、大きな拍手を受けていました**写真上**。恒例のドリル演奏も、演奏の合間に繰り広げられ、観客を楽しませました。

**3月 卒業式**



三月一日、喬徳館で行われ、佐藤忍校長が科学技術科、情報科学科、普通科計六百三十九人の卒業生代表**写真左**に卒業証書を手渡しました。校長式辞、後藤淳理事長挨拶に続き、学



**チアリーディング部**

昨年のフェンシング部男子の全国優勝など本校のクラブ活動は全国的に知られ、注目を集めています。今回は**チアリーディング部、写真部**を取り上げました。



二〇〇五年創部のチアリーディング部です。チームネームは、THUNDER S（サンダース）です。野球部の春の全国選抜大会出場の時、応援団と吹奏楽部にチアリーダーを加えた応援を始めました。「チアリーディング」という競技は「仲間との信頼」が一番大切で、見華やかな競技ですが、安全な技術の習得を第一に考

識と経験を持つ外部指導者からコーチングを受けています。昨夏には初の全国大会出場を果たしました。「一緒に挑戦、一緒に乗り越え、一緒に感動を」をモットーに、競技会で実績を挙げ、応援活動や地域のイベントに数多く参加して、積極的に活動しています。

（文 顧問・前田 佳子）

**写真部**

一昔前、暗室にこもりフィルムを現像し印画紙に焼き付けていた作業も、ここ数年のデジタル化によって今では過去のことになってしまいました。気軽に撮影できる軽量なデジタルカメラの進出により女子部員が増え、現在部員数七十



人のうち半数以上が女子です。そして部員全員が

**若水トピックス**

（文 顧問・西浦 慎人）

デジタルカメラを使用して日々撮影をしています。主な活動としては「愛知県私学美術展」、「高校生の写真展」、「学校祭写真展」など、各写真展に向けた合宿および撮影会、デジタル処理を行っています。最近では「私学美術展」で中日新聞奨励賞、「高校生の写真展」では優秀賞を受賞し、写真部初となる全国大会への出場が決まりました。今後も写真を通じ、より良い感性を育んでいきたいと思っています。

高阪、柴田君。式場で佐藤



校長から「おめでとう」というメダル等を贈られました。

**1号賞の授与**

高阪一世、柴田直人君が三月一日の卒業式で、過去にも数少ない**クラブ功労賞・1号賞**を授与されました**写真左**。

**昨夏の高校総体 小西貴之高校フェンシング部監督、栄えある後藤鉦二賞受賞** フェンシング競技・学校対抗男子の部で本校フェンシング部を全国優勝に導いた小西貴之高校フェンシング部監督（若水事務部事務職員）が学園の「平成22年度後藤鉦二賞」に選ばれました。小西監督から寄せられた「大会を振り返って」の手記を紹介します。



平成22年8月1日、沖縄県で開催された全国高等学校総合体育大会（インターハイ）で愛工大名電高校フェンシング部は、学校対抗男子の部で15年ぶり10度目の優勝をすることが出来ました。私は高校生の時、愛工大名電高校でフェンシングに出会い、その後、愛知工業大学へ進学し現在、母校でフェンシングの指導をしており、2年前から監督に就任しました。チーム成績が向上している時に監督に就任し、恩師の川嶋範夫先生より受け継いだこのチームをどのように全国優勝へ導けばいいのか、とても不安でした。

今年のチームはとてもバランスが良く、特に団体戦で本領を発揮、数々の地方大会で優勝をしてきました。春に行われる全国高校選抜大会から優勝を狙えるチームでもあったのですが、全国高校選抜大会の結果は3位。とても悔しかったのですが、この結果をバネにすぐに気持ちを切り替えて、インターハイ優勝という目標を設定し、練習をしました。今年のチームはみんなで考え、戦略を立てることのできるとても良いチームだったので、私が試合中にベンチに座っている時の心得は、とにかく見守る、悪いところの修正のみ行うことでした。インターハイでは危機もありましたが、気がつけば準決勝で全国選抜優勝校の鳥羽高校を5対2で降し、決勝へ。決勝の相手は私が高校生の時、決勝で敗れた強豪校の和歌山北高校。決勝前に川嶋先生に言われた「勝たせてくれ！」という言葉にプレッシャーを感じながらも選手を信じて、試合に挑みました。3対4と相手が優勝まであと1勝となっても全く不安もなく、「絶対優勝できる」と選手に声をかけ、そこから2連勝し、5対4で相手校を降し優勝することができました。

思い返せば選手と共にがむしゃらに練習し、また共に成長できた1年でした。愛工大名電高校フェンシング部全員の努力が結果となったインターハイでした。

最後に、応援、協力して下さった方々にこの場をお借りしてお礼申し上げます。

う十月月。月並みですが、光陰矢のごとしという表現がまさにピッタリです。その間、校長先生並びに教職員の皆様、PTA役員の皆様、そして保護者の方から多大なご支援をいただきました。まずこのことに感謝申し上げます。PTAに於ける愛工大見学会を開催し、多数の保護者の皆様に参加していただき、愛工大の素晴らしさや新しく誕生した「自由ヶ丘キャンパス」の充実した設備を見学でき、有意義な一日を過ごすことができました。

昨年七月と十二月にPTA校外補導を行い、登下校の安全確保・風紀について意見交換をしました。昨年十月に愛知県私学振興推進大会が、名古屋市公会堂で開催され、校長先生、教職



**高校PTAから PTA活動を振り返って**

PTA活動をお任せいただき、早いもので六月に會長職をお任せいただき、お世話になりました。



愛工大地域防災研究センターで地震などの話を聞くPTA会員の皆さん

員の皆様、PTA役員、保護者の皆様の協力、結束のもと多数の出席を得て、各私立学校と連携、協力ができました。また、私は十二月に「私学振興全国大会」（日比谷公会堂）に出席、衆議院議員会館で愛知県選出の国会議員に陳情をいたしました。とても貴重な経験をさせていただきました。前記の様々なPTA活動を通じて、保護者の皆様とのコミュニケーションがとれたこと、また、多数ご参加いただいたことに感謝し、そのことにより私自身が、PTA会長として成長させていただきました。そして残りわずかですが、今年の総会まで、さらなるご支援をよろしく願います。

（文 会長・星野 孝一）

「お断り」 文中のお名前とさせていただきます。

二号の編集は、同窓会会員の皆様から頂いた情報がメインとなっており、映画の世界で、それも権威ある最優秀助演男優賞を二回も受賞し映画、テレビの世界で活躍しているOBがいるよ、と教えてくれたのもOB▼同窓生の集まりの席にも気軽に呼んでくれたのが同窓会役員▼結果は紙面を見ていただければ、お分かりになると思います。この仕事は何より“情報”が命▼そして情報をいかに多く集められるかは、人との“触れあい”にあると思います。

**編集ノート**

**募金活動始動** 学園創立100周年記念事業の募金を始めました。募金目標額は、10億円です。学園100周年記念館（仮称）建設、設置校の教育・研究設備の整備・充実、奨学金制度の充実等の記念事業の一部に、充当させていただきます。寄付金の種類は、法人は1口の金額を特に定めず、個人は1口1万円、在学生の父母は1口5千円。募金期間は平成25年8月31日までです。ご協力宜しくお願いします。（学園募金事務局）